

Broadband ベランダ 取付 アンテナ (ワイヤーアンテナ 部品付)

VA-250

取扱説明書

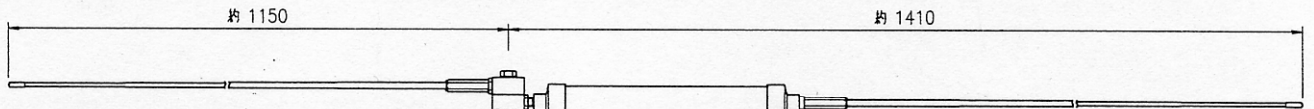
お買い求めいただきまして誠にありがとうございます。

安全にお使いいただくために！

ご使用前に、取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。  
取扱説明書は必要なときご覧になれるように、大切に保管しておいてください。

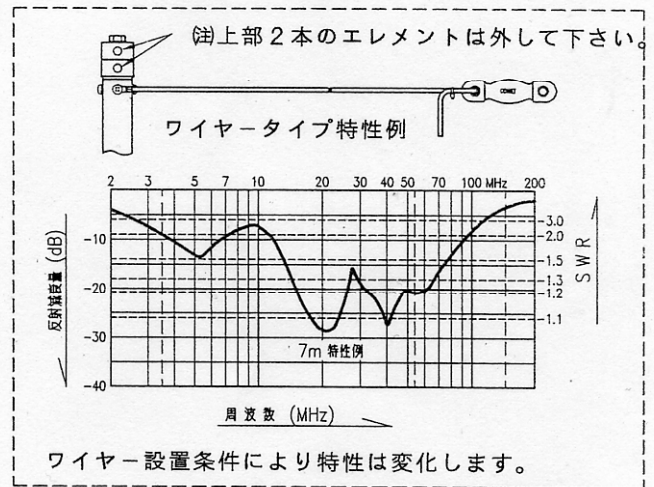
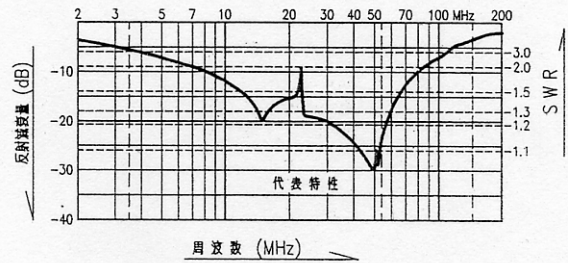
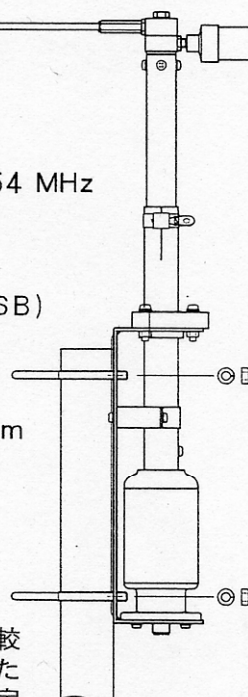
組み立てる前に！

☆梱包箱を開封したら、パーツリストに従って各部品の数量を確認して下さい。



【規格仕様】

- 送信周波数  
チューナー併用：3.5～54 MHz
- 受信周波数：2.0～90 MHz
- 形式：単一型
- 耐入力  
間欠送信時：200 W (SSB)
- インピーダンス：50 Ω
- V.SWR：1.5以下
- コネクター：M-J形
- 全高：MAX 約 0.66 m
- 重量：約 2.36 Kg
- 耐風速：40 m/sec
- 取付支柱径：30φ～72φ



【特長】

- 従来のGPアンテナなどと比較して、超広帯域特性を実現した給電構造を採用し電氣的に安定しています。
- パイプの肉厚を2mmとし、取付にはステンレス製のネジ・ボルト類を用い耐候性・耐久性の向上を図っています。
- 付属にワイヤー類を備えていますので、ワイヤーアンテナとしても使用可能。

SWR 確認は、短時間での測定を心がけます。

番号	品名	数量
1	アンテナ給電部 (この字金具・パイプ①等組込済)	1 組
2	ホースバンド (パイプ①取付)	1
3	パイプ ② (エレメント取付金具組込済)	1
4	エレメント	1
5	コイル付エレメント	1
6	角U字ボルトワッシャー・六角ナットM8付)	2 組
7	ワイヤー 3.5 <sup>φ</sup> 10m	1
8	磚子	1
9	ナイロンロープ 5m	1
10	自己融着テープ (20cm)	1

⚠ 取付・設置上の注意

- 屋根の上など高所作業の際は、落下事故やケガ防止のため、安全帽・安全帯を必ず使用して下さい。
- アンテナが、万一倒れたり部品落下して人や建造物に危害を与えない場所に設置して下さい。
- 接続ケーブルのコネクターとアンテナのコネクターが同じ種類であることを確認してください。違う種類ですと接続できなったり破損したりする場合があります。
- 取付ネジ・金具類は、しっかり締付け固定して下さい。固定が悪い場合は、地震などによる振動でゆるみ落下事故や破損及び特性不良の原因になることがあります。
- 設置の際、各接続部の防水処理をチェックして下さい。防水処理が悪いと短絡や腐食したりして、アンテナや接続機器などが破損する原因になります。
- 近くに他のアンテナ、建造物などの障害物があると、性能低下やSWRが下がらなくなることがあります。

## ⚠ 使用上の注意

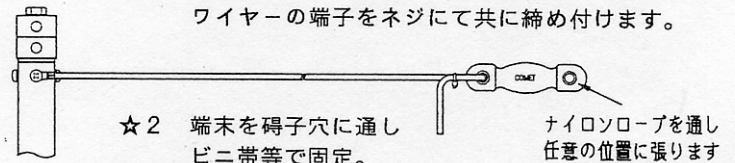
- 送信時はアンテナに触らないで下さい、やけどする場合があります。
- 雷が発生している時は、アンテナや同軸ケーブル等には触らないで下さい。直接の雷や誘導雷で感電する事があります。この時アンテナが壊れる場合がありますので、雷の通過後にはSWRをチェックして下さい。
- 規格仕様以上で使用しないでください。発熱や破損の原因になります。
- 荒天時の強風や着雪等で、アンテナに予想以上の力が加わって壊れる場合があります。目視にて外観確認とSWRチェックをして下さい。
- お客様自身での修理・改造は、故障の原因になります。

## 【組み立て方法】

- 1) パイプ②上部のエレメント取付ネジ穴にエレメントをねじ込み、六角ナットをレンチ等にて締め付け固定します。
- 2) 同様に、もう1ヵ所あるエレメント取付ネジ穴にコイル付エレメントをねじ込み、六角ナットを締め付け固定します。このとき、コイル部の赤色シール位置が下を向くように固定します。
- 3) エレメントの角度を変えたい場合、トップの六角ボルト(M8)をレンチ等にて緩めて変更後に締め付け固定します。
- 4) 手持ちのポール等に角U字ボルト、スプリングワッシャ、六角ナットを用いてアンテナを取付け固定します。

- 5) お手持ちの50Ω系同軸ケーブルM-P接栓付を、給電部のM-Jにねじ込み接続します。自己融着テープ等で防水処理を行います。
- 6) 同調点とSWR 1.5以下な事を確認します。  
 ☆パイプ②の差し込み量にて周波数補正することも可能です。  
 ※防水処理する時、自己融着テープは元長の約1.5倍強に引き延ばし接続コネクタの上から巻きつけます。

☆1 付属ワイヤーを取り付ける場合、下図のようにエレメント取付金具下にある固定ネジを緩め、ワイヤーの端子をネジにて共に締め付けます。



☆2 端末を端子穴に通しビニテープ等で固定。

ナイロンロープを通し任意の位置に張ります

注意 ワイヤーの設置条件により特性が変化します。

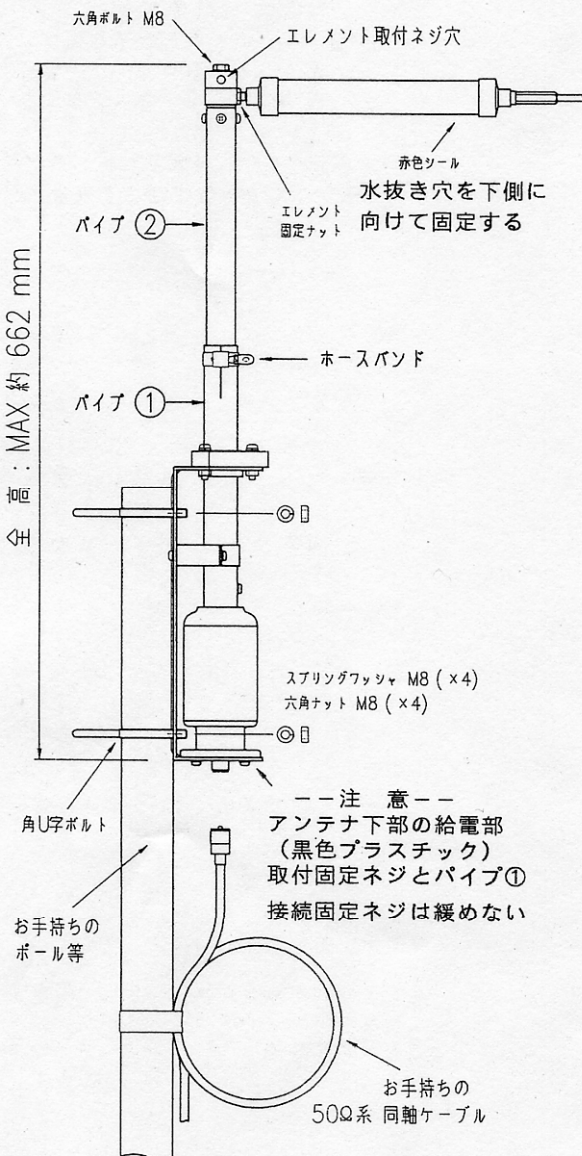
※3.5~14 MHz 帯で送信する場合、チューナーを併用してのご使用をお勧めします。  
 ※間欠送信時の電力を基準とする耐入力ですので、送信電力に十分ご注意の上ご使用下さい。

## 【点検とお手入れ】

- ☆異常と思われる現象が発生した時、直ちに使用を停止し原因を確認してください。原因が見つからなかった場合、購入販売店または弊社技術部までご相談下さい。
- 運用前にアンテナのSWRをチェックし、正常なことを確認してお使い下さい。
- 各部分の取付固定ネジ類がゆるんでないか、定期的にチェックしてください。ゆるんでいる時は、増し締めを行って下さい。

## 【アフターサービス】

- 不慮の事故等による各部品の破損、長期間使用による劣化交換のために補充部品を用意しております。お買い求めの販売店などにお申しつけ下さい。
- 嚴重なる品質管理の元で生産してありますが、運搬中等の事故による破損等がありましたら、お買求めの販売店にお申し付け下さい。
- 組み立て方法・その他の技術的なご質問などは、弊社技術部までお問い合わせ下さい。



アンテナ直下にてケーブルを径20cm程度のループを1巻作りコネクタへの荷重負荷軽減

## コメット株式会社

〒336-0026 埼玉県さいたま市南区辻 4-18-2

TEL 048-839-3131(代) FAX 048-839-3136

URL <http://www.comet-ant.co.jp>

性能向上のため予告なく外観・仕様を変更することがあります。